

1-1 鳴子温泉：南原穴堰 堰払い体験



1. コンテンツ概要及び訴求ポイント

◆南原穴堰の清掃体験

消費者が前払いでお米を購入する「鳴子の米プロジェクト」。温泉に関わる観光事業者や都市部住民も一緒に、鳴子の農業を支え、農家が安心して農作業に従事できる仕組みである。この仕組みを通じて開発、品種登録が認められた「ゆきむすび」は、都市部住民からも根強いファンがいる。

今回は、「ゆきむすび」がおいしくできるまでの背景にある米作りや、米作りにかかせない水について学び触れる体験である。鳴子の田んぼに水を引くために山に水路用のトンネルを引いた、総延長 1,880m の「南原穴堰」において、水管理のための清掃活動「堰払い」の作業に参加いただき、鳴子の米作りや農家の暮らしのディープな一面を体験いただく。

堰払い終了後は、「ゆきむすび」を使ったおにぎりや地元野菜や山菜を使った料理を楽しみながら地元の方々と交流する。体験終了後は、しんとろの湯でつかれた汗を流していただくことや、ゆの駅でおみやげ物を買っていただく。

◆季節に応じて「鳴子の米プロジェクト」の交流体験に参加できる

既存の交流体験として、春は田植え、秋は稲刈りの体験もおこなっている。鳴子のおいしい米ができあがるまでの一連のストーリーを年間通じて体験できる。

「堰払いとは」

堰払いは農業用水路や柵の泥・土砂を排出する作業。水路の泥や土砂を上げて、水の流れをスムーズにすることで、鳴子の田んぼに水を流れるようになる。水を止めていた堰から水を排出すると、穴堰の水路に勢いよく水が流れる様は圧巻である。この、地元の農家さん達しか見ること・作業することのできない水管理の体験ができる。



1-2 鳴子温泉：鬼首神楽 文化芸能体験



1. コンテンツ概要及び訴求ポイント

◆鳴子温泉鬼首で芸術の秋と食の秋を一度に堪能できる

鳴子温泉鬼首地区では、11月の神社のお祭りごとに、昔から受け継がれてきた「鬼首神楽」を演じ、神様に捧げている風習がある。お祭り会場である荒雄川神社にて「神楽の鑑賞」や、地元保存会の方による「神楽の歴史のお話」「神楽の体験」をしていただく。

また、鳴子温泉のブランドである「ゆきむすび」の新米や伝統野菜の一つである「鬼首菜」など地域の食材を使った秋の食も担当いただく。

◆鳴子温泉の芸術、食、農業などの活動を知ることができる。

本コンテンツでは、鬼首神楽を中心とした体験であり、その保存活動にも詳しくお話を聞くことができる。また、食を通じて「ゆきむすび」を生産する鳴子の米プロジェクトの活動や米作りについてもお話を聞くことで、別の季節においても鳴子温泉に体験したくなる（リピートしたくなる）ような訴求を促す。

「鬼首神楽とは」

西京や関東の武士が奥羽地方に来たときに演じたものであり、岩手県、栗原市を伝わり鬼首地区にも伝えられたといわれている大崎市指定無形民俗文化財である。

衣装の着付けから、喜怒哀楽に富んだ舞い手の演じる体験、お囃子の演奏体験など鬼首神楽の伝統芸能を味わえることができる。



2-1 岩出山：居久根を食べるツアー



1. コンテンツ概要及び訴求ポイント

◆岩出山西大崎の居久根の風景や食を楽しむ

岩出山の居久根を巡り、居久根と暮らす方々と交流し、畑や田んぼ、生きものに触れ、普段入ることのできない、居久根の屋敷を散策し、その暮らしを味わいながら食を楽しんでいただく。通年受け入れられるコンテンツであり、季節に応じて居久根に生息している植物や生き物といった違いを楽しんでいただき、それをつかった郷土料理を堪能していただく。

◆季節ごとで楽しさの変わる居久根ツアー

春はタケノコ、ノビル、三つ葉、ウド、タラノ芽などを摘み、天ぷらやみそ汁、酢味噌和えなどで楽しむ。夏は、田んぼにコナギやドジョウが、秋はため池に生息する魚を楽しむことができる。冬は、蕪ないや凍み大根づくり等季節に応じて居久根や田んぼを活用した里山の体験プログラムが味わえる。

「居久根の活動について」

岩出山地区西大崎は、居久根屋敷が多く現存する地域。そこで、居久根や水田周辺の食材による”グルメ”と、命や季節が”巡る”フィールドを”巡り歩く”、農業遺産に関わる隠れた魅力を”探る”想いで、地域のお母さん、女性たちが中心となり、「いぐね・グルぐる」プログラムを進めている。本体験では、地域でも有数の立派な居久根のお屋敷を散策し、季節に応じた山菜や魚を使った郷土料理を楽しんでいただく。



2-2 岩出山：熱気球での空中探索と居久根の散策



1. コンテンツ概要及び訴求ポイント

◆岩出山西大崎の風景をバルーンで楽しむ

岩出山西大崎は、大崎耕土が世界農業遺産に認定された重要な要素である「居久根」を有する屋敷が数多く点在している。フリーフライトの熱気球に乗って、岩出山西大崎エリアを飛ぶ。気球が上昇すると、体が下から持ち上げられるような、不思議な浮遊感を味わえ、空中散策を楽しみながら、広大な水田地帯と居久根の景色をたっぷりご覧いただく。

◆居久根屋敷を散策できる

バルーンの空中探索で上からみた居久根の景色を楽しんだ後は、居久根の屋敷を散策し、その暮らしを体験していただく。散策後、居久根の山菜等をつかった郷土料理を堪能していただく。

「バルーンの取り組み」

大崎市岩出山では、毎年11月に日本気球連盟公認の競技大会でもある「大崎バルーンフェスティバル」が開催され、全国から熱気球のチームが参加してその技術を競い合い、また、イベント期間中は体験も受け付けている。今回岩出山バルーンクラブと連携し、旧西大崎小学校を活用することで、年中楽しめる体験として実現する。



2-3 岩出山：1日で4つの味噌蔵と1つの酒蔵を巡る半日コース



1. コンテンツ概要及び訴求ポイント

◆伊達政宗公が築いた城下町と内川を歩く

岩出山は伊達家の家臣が居城を構え、城下町が発展した地域。岩出山城の外堀と農業用水としての役割をもつ内川の景観や、米菓子製造業、わら工芸品製造業、日本酒醸造業、味噌・醤油醸造業、豆腐・納豆などを製造する醸造業が大いに発展し、岩出山地域は味噌、酒などの、麹発酵の食文化を感じられるところが数多くあります。今回、内川の景観や醸造業のお店を回りながら城下町と発酵文化の雰囲気を楽しんでいただきます。

◆味噌、醤油、お酒の発酵食を楽しむ

岩出山の発酵食文化は有備館駅から徒歩圏内にあるため、大崎耕土唯一歩いて蔵元のお酒と食を楽しめる場です。森民酒造での蔵見学、味噌屋各社での見学と買い物、最後は内川の畔のカフェで岩出山の酒・味噌を使ったこの日だけのスペシャルメニューを提供します。

「内川について」

岩出山の中心を流れる「内川」は、岩出山城の外堀の役目を持つ人工の川で、農業用水路としても大きな役割を持ち、約400年前に、伊達政宗によって岩出山城が造られたと同時に掘られ、江合川に設けた取水口、「大堰頭首工」から水を引いている。現在では、「内川を考える会」を中心に内川の自然的・歴史的価値を守りながら、地域住民の交流の場や観光散策路として利用されており、世界灌漑遺産にも認定され、地域にとってかけがえのない存在となっている。



3 田尻：2万羽のマガンと出会う旅 撮影ツアー



1. コンテンツ概要及び訴求ポイント

◆マガンの「夕のねぐら入り」と「朝の飛び立ち」をプロカメラマンの指導と新作レンズで撮影

蕪栗沼では夕暮れのマガンのねぐら入りや朝の飛び立ちは、壮大な大崎耕土の中に位置づく雄大な魅力を感じられる風景を目の当たりにすることができ、バードウォッチングやカメラ撮影で人気の場となっています。本プログラムは、バードウォッチングの得意なカメラマンと同行し、さらに、レンズメーカーとコラボして新作レンズを試用しながらマガンのねぐら入りや飛び立ちの撮影を楽しんでいただきます。プロカメラマンの指導で、マガンの上手な撮影方法を学び、新作レンズを使用して、今後のレンズ購入意欲の訴求を図ります。

◆蕪栗沼から一番近いバードウォッチングご用達の施設「ロマン館」で宿泊

蕪栗沼から近くにある「ロマン館」はバードウォッチングご用達の宿泊施設。ここでは、撮影前にマガンの生態系や蕪栗沼のお話について、地域の案内人から講話いただきます。マガンの生態や蕪栗沼の周辺環境・景色の知識を知ることができ、写真撮影を有意義なものになるでしょう。

また、撮影後は冷えた身体を温めるため、県内最大級の大露天風呂と高濃度源泉が自慢の日帰り温浴施設「加護坊温泉さくらの湯」でリフレッシュいただくことができます。

「素敵なマガン撮る方法とは」

野鳥の群れを撮る際は、「ゾーン AF+AI サーボ AF」。構図にこだわる時は測距点を操ることなど、撮りたいものや構図で様々な撮影のコツが必要です。本プログラムでは、カメラマンの指導のもと、プロが撮りたい野鳥写真の撮り方、機材レンズの使い方まで丁寧に教えていただきます。



4 古川：人の手で守り受け継ぐ化女沼の自然 化女沼自然保護活動



1. コンテンツ概要及び訴求ポイント

◆一年を通じて化女沼に関わり、生態系の保全に関わる

化女沼は周辺に暮らす住民の生活の質を確保するためにダム化された沼です。そのため、在来種だけではなく、人の手で管理されてきたからこそ維持される動植物も存在します。人が管理することによって、守られてきた環境があるという考え方は、将来へと大崎耕土を繋いでいくうえでとても重要です。

本コンテンツでは、

どんぐりの植樹・育成を主として、“一年を通じて活動に参加する”ことで、化女沼周辺の自然環境の保護について、参加者が“わがごと”として捉え、継続的に足を運んでくれるきっかけづくりであることも重要なポイントとなります。継続した活動を行うことで、自分が頑張ってきた結果が、樹木の生長を通して目に見える形となります。

植樹とその管理だけではなく、そのほかにも季節ごとの里山散策の要素を入れ込むことで、化女沼の自然を理解しながら、化女沼の自然保護につながる活動内容とします。

5-1 三本木：丘陵地における荒川堰用水路 隧道ハイキング



1. コンテンツ概要及び訴求ポイント

◆丘陵地の荒川堰用水路を歩いて学ぶ

大崎耕土が、現在のように水路が網目のように広がり、安定して水田用の水を確保することができるようになった背景には、江戸時代に急速に進めた隧道（用水路）・潜穴（トンネル水路）の整備があり、1646年から49年にかけてつくられたのが「荒川堰」です。鳴瀬川支流の花川から、松山方向に向け、自然勾配で山腹に沿って掘られたもので、開削を指揮した大越喜右衛門は、詳細な地図の無い時代に、大崎耕土全体を見渡した流域における巧みな水管理を構想したと考えられています。

今回のコンテンツでは、全長 33 kmもの荒川堰用水の見どころを存分に堪能していただくために、三本木地区の荒川堰用水路、約 16km の水路の中を歩きながら、各隧道や潜穴の構造物を真近で全部見ていきましょう。トンネル水路は中を歩くことができないため、田んぼ道を通り、居久根を散策しながら迂回して、トンネル水路の出口へ回ります。

全ての隧道・潜穴を見た後は、江戸時代の先人たちが開削した用水路の素晴らしさと価値を体感したいと思います。

◆トンネルを眺めながらおいしいお米とコーヒーで巧みな水管理を語り合う

隧道ハイキングでは2カ所のブレイクポイントを用意しています。この巧みな水管理によってできたおいしいお米でつくったおにぎり、地場のお付け物などで食を堪能しましょう。

また、観音沢潜の近く「岩の沢ため池」の風景を酔いながら、コーヒーをつかって参加者みなさんと隧道について語り合うなどいかがでしょうか。

5-2 : 居久根の保全活動とおいしいごはんで交流する



1. コンテンツ概要及び訴求ポイント

◆居久根のお屋敷に入り、居久根の保全活動に参加しよう

居久根は、多様な生き物が暮らすことのできる緑豊かな屋敷林というだけではなく、防風林としての役割や、多様な樹木が生育していることで得られる季節を味わうことのできる山菜が取れること、居久根があることで守られる水田の安全な土屋水、お米の品質など、人々の暮らしと密接につながる要素がたくさん詰まっている、大崎市ならではの農村を形成する要素の1つです。この居久根を管理するために、春は植樹、夏は草刈り、秋はすぎ葉拾い、その他剪定作業など年間通じて管理清掃作業を行っています。本コンテンツでは、普段は入れない居久根のお屋敷を特別に散策し、居久根の大切さと里山の魅力について家主さんがたっぷり語ります。そして、年間通じて行う居久根の管理清掃作業と一緒に参加し、その暮らしの豊かさや厳しさを体験していただきます。

◆清掃活動の後は、おいしいお米と居久根を食べよう

作業の後は、家主と参加者のみなさんで囲んで、地元のおいしいお米と居久根で育った山菜などの料理を食べながら交流いただきます。居久根のおかげでお米や農作物がおいしく食べられるこのストーリーを、汗をかいて、お話を聞いて、食べて学ぶことができます。

◆居久根を使ったものづくりワークショップで交流しよう

居久根の樹種は、多い順にスギ、タケ類、シロダモ、ヒノキ類、ツバキ、マサキ、クロマツ、カキ、ハンノキと種類は様々で、里山の生活環境を守るだけでなく、樹木の活用として、太い枝や間伐される木は、木製品の材料や燃料になります。

本コンテンツでは、居久根の管理清掃作業で剪定した太枝や間伐材をつかってものづくりワークショップを行います。今回は居久根に囲まれてゆったり時間をすごせられるようなベンチ（または丸椅子）をみなさんと一緒につくります。最後に、清掃で集めたすぎ葉で焚火をしながら、つくったベンチにもたれかけ、コーヒーを飲みながら談話しましょう。1日中居久根に囲まれ、居久根をつかった体験は特別な体験間違いなしです。

5-3 三本木：大釜の熱湯を浴びて安泰を祈願

一子相伝、年に一度の神厳な湯立神事に釜を奉納、地域の一員として参加する



1. コンテンツ概要及び訴求ポイント

◆無形民俗文化財 湯立神事（湯花神事）に特別参加する

毎年旧暦 9 月 18 日夜に行われる奇祭。氏子の無病息災、五穀豊穰を祈願する神事「湯立神事（湯花神事、おゆのはな、おゆだて、とも呼ばれる）」に参加できる特別なプログラムです。

現在 46 代目に至る若宮八幡神社神職一子相伝の神事である湯立神事は、地域の方が奉納する釜で沸かした熱湯を宮司が呪文を唱えながら笹の葉でわが身に打ちつける幻想的な荒行です。地域の方の釜に並んで、参加者が釜の奉納を行い、参加者もともに熱湯のほとぼしりを浴びる。年に一度の神厳な神事に参加できるまたとない機会です。

◆神事の前に地域のまちあるき、神事の後には直会（なおらい）に同席

若宮八幡神社のある三本木上宿地域は、居久根の風景が広がる農村地域です。神事の前にはこの地域をガイドとともに歩き、米づくりや居久根での生活を体感し、神事に向けて気分を高めます。

神厳な神事の後には、地域の代表者が参加する「なおらい」に参加し、交流を図ります。これもまた地域の一員として参加できる稀有な機会になります。

6 松山：松山の日本酒づくりと美容体験



1. コンテンツ概要及び訴求ポイント

◆一つの蔵 一ノ蔵の酒を知る

現在大崎耕土地域にある 11 社の酒蔵のなかでも、全行程完全“手づくり”を実現している稀有な酒蔵、「一ノ蔵酒造」。手仕事で手際よくお酒を仕込んでいく杜氏さんの姿から、その想いや技術を体感します。元々、4 社の酒蔵が合併してできた一ノ蔵。それまでの各家の歴史を捨て、新たな“一つの蔵”として再出発を切り、農業を中心とした新しい蔵元の形、若い世代のニーズに合った日本酒造りなどを革新的な取組を進めてきた彼らの姿勢は、昨今、様々なシーンで重要視される“多様性への迎合”や“共生”を実践するものであり、若い女性層や外国人観光客に訴求します・

◆お米のすべてを味わう特別な体験

酒造りを知る蔵見学にあわせて、様々な酒質を知ることができる試飲、一ノ蔵がつくる甘酒の試飲やそのアレンジを体験するワークショップ、酒粕の効能を知り・体感する美容体験を行います。一ノ蔵持つそんなストーリーを知った後の試飲は、いつも以上においしく感じるのでは。

7 鹿島台：シナイモツゴの保護活動参加



1. コンテンツ概要及び訴求ポイント

◆希少生物「シナイモツゴ」の生息を支える活動に参加する

NPO 法人シナイモツゴ郷の会と農家と一緒にため池の環境守る取り組みに参加する。この取り組みを通じて、多様な生き物と触れ、品井沼の歴史や新田開発の歴史を知るとともに、シナイモツゴの保護活動に貢献いただく。今回の体験は、現在中心課題として取り組んでいるアメリカザリガニの駆除対策に参加いただく。また、ため池には、外来種のブラックバス、希少なゼニタナゴ、ギバチ、メダカ、スナヤツメ、シマドジョウ、フナ類、ニホンウナギなど魚類も生息しており、ザリガニ駆除を通じて生き物の観察も併せて体験できる。

◆鹿島台の食を堪能する

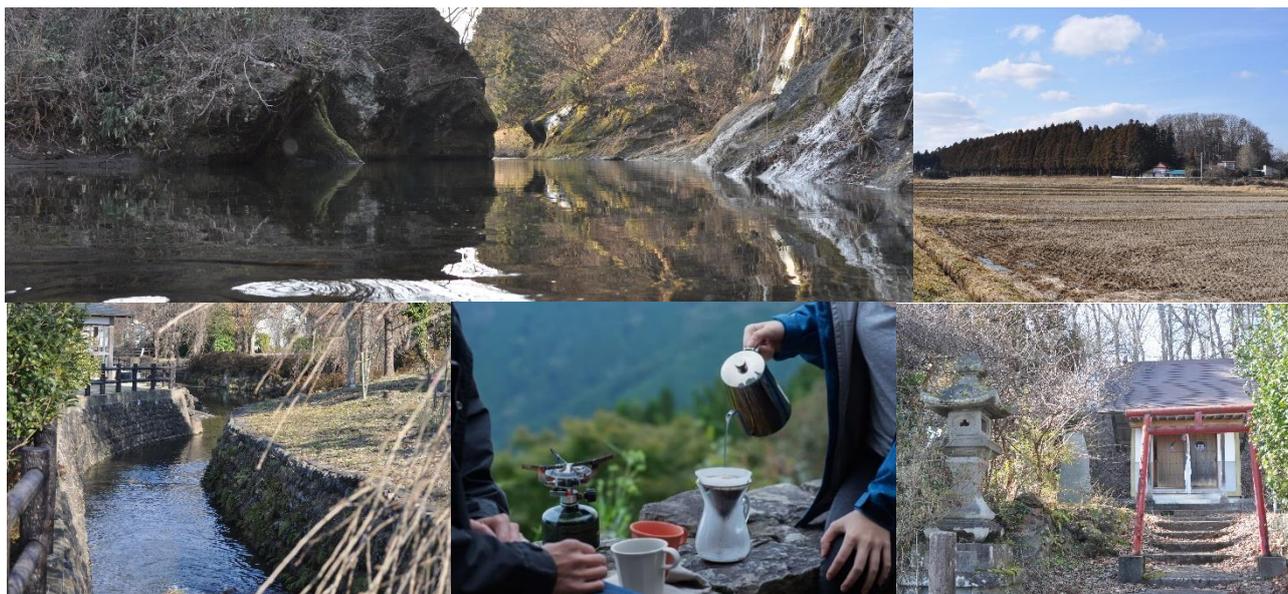
活動に参加した後は、多様な生き物が生息するため池の水質を認証した「シナイモツゴ郷の米」や捕獲したアメリカザリガニのメニュー、鹿島台の特産品であるデリシャストマト等、鹿島台の産品をつかった昼食を一緒につくって楽しんでいただく。

「シナイモツゴ郷の会の取り組みとアメリカザリガニについて」

シナイモツゴ郷の会は、ブラックバスやアメリカザリガニ対策の技術開発を全国に先駆けて展開し、シナイモツゴの生息するため池を増やし保全している。また、アメリカザリガニはカニのような味わいで美味しく、現在加工品の開発に取り組み、令和元年度では中華料理店でのメニュー化を検討している。今回の体験では、既に泥抜きをしたアメリカザリガニを用意して、参加者と一緒に料理体験を行い、地元特産品と合わせておいしく食べる機会とする。



8 加美：蝉堰ウォーキング (農業遺産を体験する民泊・グリーンツーリズム)



1. コンテンツ概要及び訴求ポイント

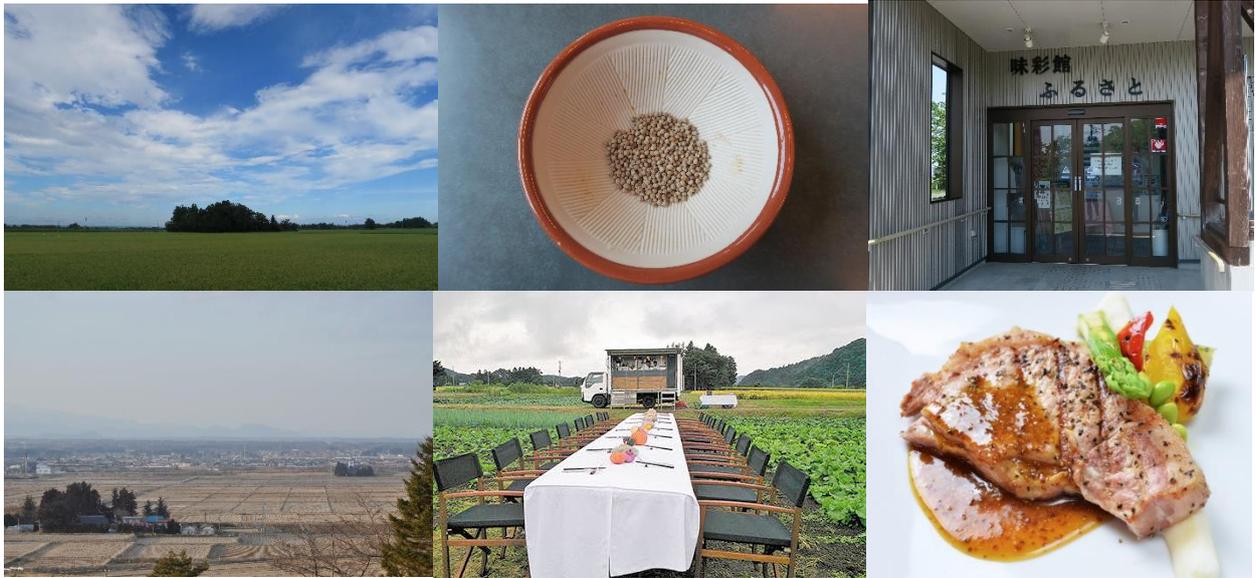
◆単なる農業体験ではない、農業に必要不可欠な水の源流をじっくり学ぶコンテンツ

大崎耕土が世界農業遺産に認定された要因の一つ、“巧みな水管理”。郷土を拓いた先人たちが、水源である鳴瀬川からどのような手法で、想い（苦勞）でこの地に水を通したか。

万時3年（1660年）からの工事で作られた農業用水路蝉堰を上流から下流へ歩いて巡り、標高60メートルの大地を越えて通水させるために当時13歳だった現場責任者の次男を人柱にたて、通水を祈願した逸話、当時の穴堰（トンネル水路）の掘り方、地域の伝承を交えながら域内に残る水路をガイドと共に散策します。

2時間半、約8kmの行程をゆっくりと歩きます。途中、昔ながらのお茶菓子と淹れたてのコーヒーで「おちやっこ」（お茶菓子で休憩）、ガイドの方から地域の話聞き、参加される自分たちの地域のことや関心のある食材のことなど、おしゃべりしながら過ごします。

9色麻：高級・高品質エゴマのオーナーになろう！



1. コンテンツ概要及び訴求ポイント

◆高級食材えごまをふんだんに使ったフルコースが味わえる贅沢ツアー

東南アジア原産のシソ科の植物「えごま」。日本ではインド原産の「胡麻」が一般化する前から食されており、縄文時代前期から栽培の形跡があり、日本最古の油脂植物でありながら、現代の食生活で不足しがちな栄養素を豊富に含んでいることから、健康食として昨今人気の高い食材です。

脱穀などの収穫行程を体験し軽く汗をかいた後には、刈り取りが終わりだっ広くなった畑の真ん中に机とイスを並べ、収穫したえごまをふんだんに使用したフレンチのフルコースが堪能できる“畑レストラン”の開店です。お土産として規格外のえごまの原穀や加工品もお持ち帰りいただけます。

なお色麻町では様々な加工品をつくっており、特にエゴマ油やエゴマ豚のしゃぶしゃぶセットは店舗へ入荷してもすぐに売り切れてしまうほどの人気商品です。作付面積は年々拡大し、2012年からは全国一を誇りますが、加工商品が人気のため、更なる収量が求められます。もしこのツアーで色麻のえごまを気に入っていただけたら、オーナーになってえごまの生産振興にお力添えをいただけますと、特典として、通年で原穀やえごま油等の加工商品をお届けします。

10 涌谷：篔峯寺に関わる伝統農耕行事体験



1. コンテンツ概要及び訴求ポイント

◆座禅体験と精進料理で心と身体をリフレッシュする

忙しい毎日に疲れた気分をリフレッシュし、心を落ち着けて自分を見つめなおす機会として座禅体験をしていただく。座禅体験の後は、篔峯寺の行事で提供されてきた精進料理を味わう。焼き豆腐とごぼうで作られる『おさしぐし』と、夜通しお勤めする僧の眠気覚しに提供されたまつもと干した納豆に唐辛子醤油の汁が注がれた『おからみ』などが味わえる。また、食事にあたっては、ただ食べるのではなく、『略食事作法』に則り、食前と食後に、食事に感謝する言葉を唱和する。

◆篔峯寺の歴史農耕文化を知る

座禅体験と精進料理を体験した篔峯寺の背景にある御弓神事や、種籾の交換など農耕文化と密接につながる歴史農耕文化について貴重なお話を聞くことができる。また、篔峯寺の散策では、展望台に上り、1月の第4日曜日に行われる白山祭に関心をもってもらい、白山祭にも来訪（リピート）していただくように促す機会とする。

1 1 美里：ぬか釜炊きおむすびと郷土の味



1. コンテンツ概要及び訴求ポイント

◆ぬか釜炊き&郷土料理体験

美里においても風習のあった「ぬか釜」を体験する。「もみ」が燃料のため、現代では機械で自動的に精米されるが、この体験ではあえてもみ摺りも手作業いただく。

「もみがら」に火がついたら、一気に燃えて燃え尽きてしまうのかと思いきや、お米が炊き上がるまでちょうどよい塩梅で火が回る。一度火をつけてしまえば火加減などさほど気にする必要も無く、美味しいご飯が炊きあがる。万が一焦げついてしまっても、そういった失敗が盛り上がる可能性もある。

ほのかに香る、けむりで燻されたような、炊飯器ではとても味わえない贅沢な香ばしさが、本体験で最も伝えたい点である。

また、お米の甘味と香りがとてもバランスがよく、ごはんだけで十分美味しいところだが、シソ巻やすっぽこ汁などおかずと汁物をつけて、贅沢な郷土の味を体験いただく。

◆季節のオプションツアー

春は田植え、秋は稲刈り・脱穀体験等、もみ摺りに至るまでの工程や、餅つきを体験いただく。